

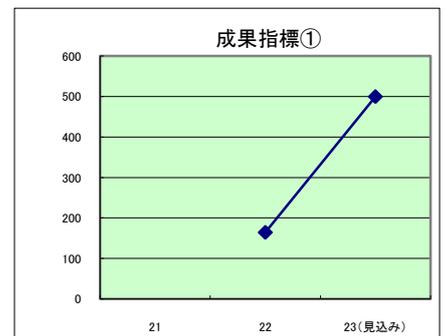
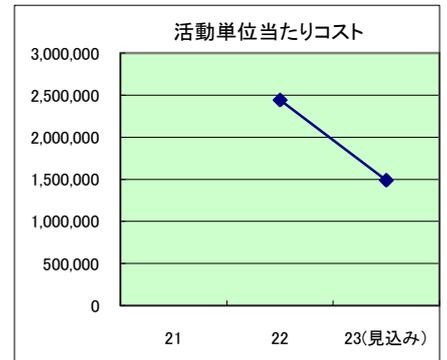
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

保健21

事務事業名		自殺対策緊急強化事業		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画		2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	4	衛生費		
まちづくりの目標(章)	1				保健・医療	項	1	保健衛生費	
施策(節)	(2)				保健事業の推進	目	2	予防費	
施策の方向			事業		60	地域自殺対策緊急強化			
関連する計画等	健康はびきの21		作成部署	保健福祉部保険健康室健康増進課					
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072-958-1111 内線 5150				
	羽曳野市民								
事業の内容	意図(どういった状態にしたいのか)								
	相談や啓発活動を通じて自殺予防に努める。								
専門家における相談の場の提供および自殺予防の窓口などの啓発活動、予防につながるような知識を提供するための講演会の実施等									
根拠法令等		地域自殺対策緊急強化基金管理運営要領							
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 21 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成		終了年度		平成 24 年度			
事業開始時からの状況変化									
市民や議会の要望									
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()							
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容					

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,232	2,082	2,688
人件費【2】 (千円)		375	360	288
職員数	正規職員	0.05 人	0.05 人	0.04 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		1,607	2,442	2,976
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)	1,232	2,082	2,688
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	375	360	288
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 講演会の開催	回		1	2
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		円	2,442,000 円	1,488,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		14 円	21 円	25 円



成果指標	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
①	講演会参加人数 (式)	人	自殺防止対策の啓発普及事業の一環として参加者数を指標とした。	200	164	200	82.0%	500	
②	(式)								

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○		○								

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	全国においても自殺者の増加が報告される今、国・府・市が一体となり自殺対策を行うことは重要である。緊急性においても高く、単年度の取り組みでは効果が評価できず、継続した事業が求められる。サービスに関しては各市町村で差があり、まだ内容の検討の余地がある。		
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	事業自体が始まったばかりであり、今後、国・府等関係機関との緊密な連携のもとで効果・効率的な事業を推進する。		
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自殺者を減らすという明確な目的に沿って、国・府等関係機関との連携を強化し、効果的な予防策を継続的に講じる必要がある。		
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業自体が始まったばかりであり、今後は市民の意見を取り入れながら、事業を展開していく必要がある。		
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	単年度での目標達成は難しく、一人一人に向かい合うことから行っている。		
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

担当部局評価	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	<input type="checkbox"/> 民営化・民間委託	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 完了	
	評価の理由	自殺者の減少という目的に向け、国・府・市が一体となり自殺対策を行うことは重要である。緊急性においても高く、単年度の取り組みでは効果がみえないため継続した事業実施が求められる。各市町村で行政サービスに差があるため、内容を改善し、よりよいサービスを提供していく必要がある。							
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	国・府等関係機関との緊密な連携のもとで自殺者の減少を目標に効果・効率的な事業を推進する。また、関係部署の職員が対応を学べる研修等を計画していく。							

行革本部評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	<input type="checkbox"/> 民営化・民間委託	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 完了
	評価理由・意見							